

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	平本哲哉
2. 研究課題名	慢性咳嗽の背景にある自律神経機能と身体的・精神的症状との関連：ポリソムノグラフィーより得られた脳波、心拍変動データの解析方法の開発
3. 研究の概要	<p>当院は、小児から成人までの多くの慢性咳嗽や睡眠障害の患者様を診療しておます。 慢性咳嗽の診断と治療は大きく進歩していますが、気管支喘息、咳喘息、副鼻腔気管支症候群、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、胃食道逆流症、ストレス関連疾患など鑑別する必要があり疾患が多くあり、また、検査や効果が期待される治療（診断的治療）を行っても原因不明で難治性の咳嗽が存在します。 自律神経系の評価には心拍変動が古くから用いられていますが、健常人や神経に器質的障害が乏しい患者では、小さな体動でも心拍変動が容易に変化することから、データが不安定になりやすくストレス刺激との関係性についての検討も十分に行われていません。 私たちは体動などによるアーチファクト（不適切な信号、ノイズ）の少ない睡眠中の心拍変動に注目し、過去、当院にてポリソムノグラフィーを用いて収集したデータから規範データを作成し、慢性咳嗽患者と比較し検討したいと考えています。 この研究結果に基づいて得られた知見は、慢性咳嗽において、原因となる客観的要因や主観的要因を示し、症状の改善に役立つ可能性があります。</p> <p><個人情報の取り扱いについて> 資料提供者の個人を特定することはできません。 <資料提供者にもたらされる利益、不利益について> 資料提供者の個人情報を公表することはないため、この結果が資料提供者に不利益をもたらす可能性はありません。慢性咳嗽に関するデータに関しては、個別に同意をとらせていただきます。</p>
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容：性別、生年、年齢、薬剤内服状況、ポリソムノグラフィーより得られたデータなど</p> <p>2008年1月1日から2013年12月31日</p>
5. 病名	睡眠障害（疑い）、閉塞性睡眠時無呼吸症候群（疑い）

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。
- ③ 研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所：〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話：092-565-5534

FAX：092-566-0702

e-mail: kamata.tetsuya.ha@mail.hosp.go.jp

（お問い合わせは、なるべく、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。）